



『倚りかからず』『自分の感受性くらい』など多くの清冽な詩で知られる茨木のり子。20歳で迎えた終戦。夫との運命の出会い。夫を喪ってからの30年の歲月……。日々を丁寧に紡ぎながら、独りの暮らしを賑やかにすごした彼女。死後に遺された一冊の詩集をめぐる物語。

グループ・ばる vol.22 **蜜柑とユウツ** — 茨木のり子異聞 —

る・ばるの女優陣から彼女の名前をいただいた時、これは困ったと思った。茨木のり子と言えば『わたしが一番きれいだったとき』という詩が教科書に載っていたし、ちょっとふらつけば「自分の感受性くらい/自分で守れ/ばかものよ」と叱咤が飛んでくる。暮らしを整え、背筋をシャンと伸ばして生きた彼女は、今更誰かに語られるのを遠慮するように背を向ける。そこで勝手口から忍び込むような真似はよして、ピンポンと玄関チャイムを鳴らす気持ちで彼女に向かい合ってみた。徐々に部屋の出入りを許されて、最近やっとうたた寝姿を見せてくれるようになってきた。詩人の評伝というよりは、ひとりの女性のささやかな物語になると思う。でもそれが、ささやかに賑やかで、あかるい光を放つものになればいい。彼女が遺した言葉の数々が、ほんとうに必要なとされているのは今なのだ。

ある人間が、この世に生きて、世の中と摩擦を起こして、熱のようなものを生ずる。それは、その人の死後も余熱のようにこの世に残る。それはじんわりと温かい。ときにまだ火傷をするほど熱い。その余熱は、まだまだ誰かを励まし、誰かの背筋をぴりりとさせ、世の中の歯車を少し動かすことさえある。敬愛する、る・ばるの女優さんたちが、2006年に亡くなった詩人の茨木のり子さんを芝居にしたいと思立った。台本を書く劇作家は、今ならこの人を措いて他にはないという長田育恵さんだ。本当に素敵なお大人のキャストもそろった。茨木のり子さんの余熱は、そんなふうにまだ誰かを励まし、誰かの背筋をぴりりとさせ、世の中の歯車を少し動かすのだ。奇跡のようなことだと思う。そして、この奇跡もまた、彼女の詩の一篇に違いないのだと思う。よい芝居にしなければなりません。絶対に。

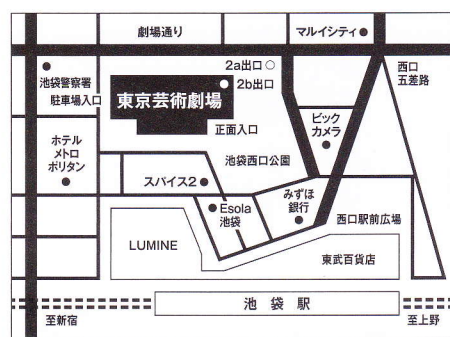
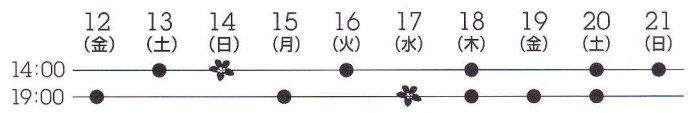
作:長田育恵(てがみ座)

演出:マキノゾミ



美術:奥村泰彦 照明:稲葉直人(ASG) 音響:内藤博司(ショウビズスタジオ) 衣裳:三大寺志保美(三茶工房) 演出助手:大野裕明(花組芝居) プロンプター:西山水木 舞台監督:古屋治男 イラストレーション:荒井良二 宣伝写真:宮川舞子 宣伝美術:潮田真樹子(FORM) 協力:谷川俊太郎 宮崎治 制作:有本住子(プリエール) 津田はつ恵(プリエール) 林弥生 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 主催:グループ・ばる <http://lebal.jp>

2015年6月12日(金)~6月21日(日)



★=終演後、アフタートークあり。詳細はる・ばるHPにて! 受付開始・当日券販売は開演の60分前、開場は30分前
東京芸術劇場 シアターイースト
東京都豊島区西池袋1-8-1
☎03-5391-2111
JR・東京メトロ・東武東上線 西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分 駅地下通路2b出口直結

- 前売開始
- 料金(全席指定・税込) 2015年4月27日(月) 前売**4,500円** 当日**4,700円** 25歳以下**3,000円** (U25はプリエール・東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取り扱い)
- チケット取扱
プリエール.....03-5942-9025(平日11~18時) <http://priere.jp>
東京芸術劇場.....0570-010-296(休館日を除く10~19時) <http://www.geigeki.jp/t/>(PC) <http://www.geigeki.jp/i/t/>(携帯)
チケットぴあ.....Pコード:442-847 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
ローソンチケット.....Lコード:39283 0570-084-003, 0570-000-407(オペレーター対応) <http://l-tike.com/>
カンフェティ.....0120-240-540(平日10~18時) <http://www.confetti-web.com>
- お問合せ
プリエール.....03-5942-9025(平日11~18時) info@priere.jp